

令和3年度 第2回掛川市子ども・子育て会議 次第

1 報告事項

- (1) 令和4年度における認可定員及び利用定員の増加・減少に係る協議の実施について（案）（資料1）
- (2) 子ども・子育て支援事業計画に掲げる主要事業の実施状況について（資料2）

2 その他

- (1) 令和4年度会議開催予定
 - 第1回 令和4年8月19日（金）13：30～（市役所本庁舎4階会議室1）
 - 第2回 令和5年3月17日（金）13：30～（市役所本庁舎4階会議室1）

令和4年度における認可定員及び利用定員の増加・減少に係る協議の実施について（案）

1 概要

少子化の加速、保育料の無償化等による保育ニーズの高まり、新型コロナウイルス感染症の拡大等の様々な社会情勢の変化により、保育ニーズを正確に推計することが難しい状況が続いています。

今年度、令和3年4月1日現在では国定義の待機児童はゼロとなりましたが、月を追うごとに待機児童や入所保留者も増加しています。

上記のように、2号・3号の保育ニーズが高まる一方、1号ニーズは減少している状況や、利用定員以上の保育ニーズが潜在的に見込まれる等、施設により状況が異なるため、保育施設の健全かつ適切な運営を維持するためには、状況に応じた定員の増加・減少の協議が必要であると考えます。

当協議については、9月の入園募集までに保育ニーズの実情に合った定員を反映させることを目的に、これまでは運営事業者から随時連絡を受け、その都度協議しておりましたが、令和4年度からは、協議スケジュールを以下のとおり定めて実施することとします。

なお、令和4年度については、認可定員及び利用定員の増加・減少の考え方は以下のとおりとします。

2 認可定員及び利用定員の増加・減少の考え方

- ①認可定員と利用定員は、原則一致するものとする。
- ②この協議スケジュール以外の定員の増加・減少は、原則認めないものとする。
- ③定員の増加・減少は、設備基準や人員配置等が満たされていることを前提とする。
- ④1号認定の減少は、可能とする。ただし、増加については、原則、不可とする。
- ⑤2・3号認定の定員の増加・減少については、就学前児童数の推移、保育施設の利用率、各施設の入所率、地域のニーズ、国・県・市の方針等を踏まえ、総合的に勘案し決定するため、運営事業者からの協議内容に応えられない場合があります。

3 協議の流れ

(1) 協議スケジュール

令和4年度に定員の増加・減少の協議を実施し、令和5年度の定員に反映させる場合

実施内容		R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R5.2
①	子ども・子育て会議にて定員変更方法について協議	←→								
②	連絡会にて①について周知	←→								
③	子ども希望部に定員変更について協議依頼		←→							
④	協議資料の提出		←→							
⑤	子ども希望部との協議		←→							
⑥	子ども・子育て会議に協議事項として諮る						←→			
⑦	令和5年度入所募集								←→	
⑧	認可申請書類の提出（法人→市→県）									←→
⑨	利用定員届出書類の提出（法人→市→県）									←→

(2) 協議資料（様式は任意）

① 協議資料（ウについては、増加の場合のみ必要）

ア 現在の定員と入所者数及び増加・減少後の定員がわかる資料

イ 増加・減少が必要な理由

ウ 増加後の定員に対して、施設が保育に必要な面積を確保していることがわかる資料
（必要面積と該当部分がわかる図面等を示してください）

② 協議時に必要な資料部数（8部）

子ども・子育て支援事業計画に掲げる主要事業の実施状況について

資料2

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課
1 子どもの健やかな成長を支える環境づくり	(1)妊産期における支援	母子健康手帳の交付・妊婦相談	産婦健診で不安や心配のある母子を把握することにより、医療機関からの情報共有が早期に図られ、不適切な育児・環境や母親の強い育児不安等に電話相談や家庭訪問で引き続き対応する。 ○令和3年度実績 産婦健康診査受診延件数 1,293件 (令和4年1月末現在)	産婦健診で産後うつと不安や心配のある母子の把握することにより、医療機関からの情報共有が早期に図られ、不適切な育児・環境や母親の強い育児不安等に電話相談や家庭訪問で引き続き対応する。定期的な受診により、適切な保健指導を受け正しい育児と健康な児の成長につなげる。	健康医療課
		産婦健康診査事業	産婦健診で不安や心配のある母子を把握することにより、医療機関からの情報共有が早期に図られ、不適切な育児・環境や母親の強い育児不安等に電話相談や家庭訪問で引き続き対応する。 ○令和3年度実績 産婦健康診査受診延件数 1,293件 (令和4年1月末現在)	産婦健診で産後うつと不安や心配のある母子の把握することにより、医療機関からの情報共有が早期に図られ、不適切な育児・環境や母親の強い育児不安等に電話相談や家庭訪問で引き続き対応する。定期的な受診により、適切な保健指導を受け正しい育児と健康な児の成長につなげる。	健康医療課
	(2)乳幼児期における支援	乳児家庭全戸訪問事業	複雑な背景を持ち、継続的に支援が必要となる家庭が増加傾向にあるため、引き続き、産後の体調管理と不安等の相談対応をし、児の健やかな成長と産婦の体調回復や育児不安軽減に努める。 ○令和3年度実績 乳児家庭訪問延件数 720件 (令和4年1月末現在)	出生後1～4か月くらいのすべての児と産婦を対象に母子の健康管理、育児相談や各種健診・予防接種等の情報提供を行う。複雑な背景を持ち、継続的に支援が必要となる家庭が増加傾向にあるため、傾聴と丁寧な助言を行う。	健康医療課
		乳幼児健康診査事業	子どもの成長発達を知る機会が少なく、育ちを知らない保護者が増えている。月齢に合わせた育児の情報を提供し、児の成長発達を丁寧に保護者と確認していく。 ○令和3年度実績(受診者数) 1歳6か月児健診 735件 2歳2か月児健診 723件 3歳児健診 815件(令和4年1月末現在)	乳幼児期の各月において、身体発育や精神発達の遅れ、運動機能障害、視覚聴覚障害等を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止する。	健康医療課
		利用者支援事業(基本型) (子育てコンシェルジュ事業)	育児不安の解消、家庭での子育て力の向上のため、相談受付を実施した。 令和3年度実績 相談件数 延344件(1月31日現在)	育児不安の解消、家庭での子育て力の向上のため、相談受付を継続して実施していく。	こども政策課
	(3)学童期・思春期における支援	母子健康講座	引き続き、小中学校や高等学校からの依頼により健康講座を実施していく。 ○令和3年度実績 健康講座開催件数 2件(令和4年1月末現在)	小中学校や高等学校からの依頼を受け、保健師等が生活習慣、食育等について講義を行う。	健康医療課
		各種予防接種	ロタウィルスワクチンが開始され、定期接種開始時期や接種間隔の周知、接種勧奨を引き続き行う。 ○令和3年度実績 (11種類) 接種延べ件数 18,579件	子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開される。接種機会を逃した方も含め、対象者に対して周知、情報提供を丁寧かつ適切に行っていく。	健康医療課

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課
2 乳幼児期における教育・保育の充実	(1)保育者の資質・意欲の向上	かけがわ乳幼児教育未来学会事業	○新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら各種研修を実施。 ・20回の研修会に延べ1,231人の保育者等が参加した。 ○保育士等キャリアアップ研修実施機関指定によるキャリアアップ研修の実施。 ・県の指定を受け、年5回の研修を実施し、37人に修了証明書、8人に受講証明書を発行した。	○新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら各種研修を実施する。 ○保育士等キャリアアップ研修実施機関指定によるキャリアアップ研修を実施する。	こども希望課
		合同保育	○土方幼稚園、中幼稚園の令和4年度からの毎日の合同保育を踏まえて実施 ・新型コロナウイルスの感染状況により日程の変更を行ったが、計画通り5回実施。今後、年度末までに3回実施予定。	○令和5年度きとうこども園の開園を踏まえ、土方幼稚園・中幼稚園に佐東幼稚園を加えた3園の合同保育を実施する。また、城東保育園を加えた4園の合同保育も実施する。	こども希望課
	(2)教育・保育事業の充実	一時預かり事業(幼稚園型を除く)	○家庭において保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児について、一時的に預かる事業を実施する園に対して補助金を交付する。 ・対象園 4園 ・補助金額 2,282千円(見込み)	○家庭において保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児について、一時的に預かる事業を実施する園に対して補助金を交付する。 ・対象園 4園 ・補助金額 3,535千円(予算額)	こども希望課
		病児・病後児保育事業	○病気、又は病気回復期にある児童を施設等において一時的に預かり、子育てと就労の両立を支援する事業を実施する施設に対して補助金を交付する。 [病児保育] ・対象施設 1施設 ・補助金額 21,474千円(見込み) [病後児保育] ・対象園 3園 ・補助金額 896千円(見込み)	○病気、又は病気回復期にある児童を施設等において一時的に預かり、子育てと就労の両立を支援する事業を実施する施設に対して補助金を交付する。 [病児保育] ・対象施設 1施設 ・補助金額 21,853千円(予算額) [病後児保育] ・対象園 3園 ・補助金額 784千円(予算額)	こども希望課
		大東大須賀区域幼稚園保育園の認定こども園化事業	○大洲幼稚園とおおぶち保育園の再編による認定こども園化 おおぶち保育園の老朽化した設備を改修し、幼保連携型認定こども園「おおぶちそよ風こども園」を開園する。 修繕費計 60,625,000円(駐車場整備工事、空調改修工事、照明LED化工事等) ○きとうこども園の工事着手 造成工事:令和3年1月26日から令和3年7月30日まで 118,910,000円 建設工事:令和3年12月29日から令和5年2月20日まで 計972,133,800円 ①建築工事 680,083,800円 若杉・戸塚JV ②機械設備工事 188,100,000円 シンワ・大城JV ③電気設備工事 103,950,000円 (株)川北電気 ○大洲幼稚園閉園式の開催、閉園記念誌の作成	◎土方、中、佐東幼稚園と城東保育園の再編による認定こども園化 幼保連携型認定こども園「きとうこども園」の竣工 建設工事:令和3年12月29日から令和5年2月20日まで 計972,133,800円 ①建築工事 680,083,800円 若杉・戸塚JV ②機械設備工事 188,100,000円 シンワ・大城JV ③電気設備工事 103,950,000円 (株)川北電気 ○土方、中、佐東幼稚園閉園式の開催、閉園記念誌の作成	こども政策課
		保育士等就職応援資金貸付事業	保育士不足による待機児童発生を解消するために、より多くの保育士を確保するため、継続して実施していく。 ○令和3年度実施件数 貸付件数 29件(令和4年1月31日現在)	引き続き、より多くの保育士を確保するため、継続して実施していく。 ○令和4年度貸付予定件数 40件	こども政策課

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課
3 確かな学力と豊かな心をはぐくむ教育の推進	(3)安全・安心な園環境の整備	保育所等防犯対策強化整備事業	○防犯カメラの設置等、防犯対策強化整備を実施する施設に対して補助金を交付する。 ・実施する園なし（見込み）	○防犯カメラの設置等、防犯対策強化整備を実施する施設に対して補助金を交付する。 ・対象園 1園 ・補助金額 1,350千円※予算額 ・内容 防犯カメラ（予定）	こども希望課
		災害を想定した避難訓練の実施	○火災や地震・津波等を想定した避難訓練の実施（公立園） ・各園 12回/年実施予定。 ・各園マニュアル見直しの実施。 ・総合防災訓練【幼保班】の実施（感染症拡大に伴い中止）	○火災や地震・津波等を想定した避難訓練の実施（公立園） ・各園 12回/年 ・各園マニュアル見直しの実施 ・総合防災訓練【幼保班】の実施	こども希望課
	(4)多様な子どもへの対応	外国人保育事業	○外国人児童の受け入れを促進するため、外国人児童が6人以上在籍する施設に対して、補助金を交付する。 ・対象園 4園 ・補助金 1,470千円（見込み）	○外国人児童の受け入れを促進するため、外国人児童が6人以上在籍する施設に対して、補助金を交付する。 ・対象園 4園 ・補助金 1,680千円（予算額）	こども希望課
		障がい児保育事業	○障がいを持つ児童を受け入れる施設に対して、補助金を交付する。 ・対象園 16園 ・補助金 28,877千円（見込み）	○障がいを持つ児童を受け入れる施設に対して、補助金を交付する。 ・対象園 15園 ・補助金 28,428千円（予算額）	こども希望課
	(1)学校における魅力ある教育の推進	学校教育情報化推進事業	○「第2期掛川市教育情報化推進基本計画」の推進 ○iPadを活用した協働的な学び、個別最適な学びの充実 ○対面/オンライン学習双方の良さを取り入れた学習の推進 ○教職員のICT活用指導力向上のための研修の充実 ○情報モラルに関する授業等の充実	○授業支援アプリ等を活用した、協働的な学び、個別最適な学びのさらなる推進 ○対面/オンライン学習双方の良さを取り入れた学習の推進 ○学校でのiPad活用推進のための教員向け研修会、講習会の充実 ○情報モラル指導の実践に向けた資料作成	学校教育課
		かけがわ道徳事業	○教育活動全体をととして、自己の生き方についての考えを深め、郷土を誇る心をもち、夢に向かってたくましく生きる児童生徒の育成。 ○「かけがわ道徳担当者研修会」の開催（年2回） ○「かけがわ道徳小中一貫教育カリキュラム」の実施	○教育活動全体をととして、自己の生き方についての考えを深め、郷土を誇る心をもち、夢に向かってたくましく生きる児童生徒の育成。 ○「かけがわ道徳担当者研修会」の開催（年2回） ○「かけがわ道徳研究委員会」の開催（年2回） ○「かけがわ道徳小中一貫教育カリキュラム」の実施	学校教育課
出前文化財講座事業		○依頼を受けた小学校に学芸員が出向き、出土遺物の解説や地域の歴史に関する講義を行った。 ○令和3年度実績 6校実施 133名参加	・依頼を受けた小中学校に学芸員が出向き、対象となる地域の出土遺物の解説や地域の歴史に関する講義を行っていく。	文化・スポーツ振興課	
学習活用の日		○授業で大須賀歴史民俗資料館を見学してもらい、学芸員が解説を行った。 ○令和3年度実績 4校実施 131名参加。（1月31日現在）	・引き続き、各学校の希望に応じて大須賀歴史民俗資料館にて学芸員による解説を行い、子ども達が民俗資料に触れる機会を創出する。	文化・スポーツ振興課	

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課
(2)青少年健全育成の推進		いじめ防止対策推進事業	○掛川市いじめ防止対策推進委員会の開催 令和3年7月と令和4年1月に開催し、いじめ重大事態への対応やいじめの未然防止対策に関する指導、助言を行った。また、重大事態が発生した場合は、その都度、臨時の会をもつ。	○掛川市いじめ防止対策推進委員会の開催 令和4年7月と令和5年2月に開催し、いじめ重大事態への対応やいじめの未然防止対策に関する指導、助言を行った。また、重大事態が発生した場合は、その都度、臨時の会をもつ。	学校教育課
		こころの教室相談事業	○教育センター適応指導教室(みどり教室)と北分教室に通級する児童生徒の適応指導や保護者を含めた教育相談を行う。 令和3年12月末時点ののべ件数 68件 ○適応指導教室サテライト校を、東中、西中、北中、桜が丘中に設置し、心の教室指導員を派遣して生徒の適応指導を行う。 令和3年12月時点での延べり利用人数 2,510人	○教育センター教育支援室(みどり教室)と北分教室に通級する児童生徒の適応指導や保護者を含めた教育相談を行う。 ○教育支援室サテライト校を、東中、西中、北中、桜が丘中、大浜中に設置し、心の教室指導員を派遣して生徒の適応指導を行う。	学校教育課
		情報モラル啓発事業	○学校ネットパトロール事業 小学校年3回、中学校年6回 ○情報モラル啓発出前講座 市内園・小中学校 5回 ○「掛川市学校ネットパトロールだより」の発行 年2回	○学校ネットパトロール事業 小学校年3回、中学校年6回 ○情報モラル啓発出前講座 市内園・小中学校 5回 ○「ケータイ・スマホアドバイザー」による出前講座 情報モラル担当職員が、県主催の「ケータイ・スマホアドバイザー養成講座」を受講し、「ケータイ・スマホアドバイザー」として希望する小中学校へ出前講座を行う。 ○「掛川市学校ネットパトロールだより」の発行 年2回	教育政策課
		青少年健全育成活動推進事業	○「地域の青少年声掛け運動」参加者募集を継続実施。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、街頭キャンペーン、全市一斉青少年育成環境美化活動を中止とした。	○「地域の青少年声掛け運動」の実践を推進する。 ○新型コロナウイルス感染拡大状況によるが、街頭キャンペーン等を開催予定。	教育政策課
		夏休み文化財教室事業	○7月31日(土)に、市内在住の小中学生及びその保護者を対象に、松ヶ岡(旧山崎家住宅)で文化財教室を開催した。 6組15名参加	○夏休み期間中に、市内在住の小中学生及びその保護者を対象に、文化財教室を開催し、文化財を身近に感じる場を提供する。	文化・スポーツ振興課
		松ヶ岡プロジェクトの推進	○松ヶ岡の大規模修復工事を実施し、貴重な文化財を後世に伝えていく。 ○毎月第4土曜日の一般公開の開催や松ヶ岡公式HPで工事の様子、また以善会の研究成果を紹介し、松ヶ岡を知ってもらう取り組みを実施。 ○瓦記名事業を実施し、259件の賛同を得た。	○松ヶ岡の大規模修復工事を実施し、貴重な文化財を後世に伝えていく。 ○毎月第4土曜日の一般公開の開催や松ヶ岡公式HPで工事の様子や以善会の研究成果を紹介し、松ヶ岡を知ってもらう取り組みを引き続き行う。	文化・スポーツ振興課

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課
	(3)放課後における子育て支援の充実	放課後児童健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ○4月1日から1クラブ新設(第一小どんぐり学童保育所)し、市内全38クラブ体制となった。 ○7月に利用意向調査を実施し、学童の需要を把握した。 ○ほほえみ学童保育所(横須賀小)を3月31日で閉園となったよこすか保育園舎へ移転させ、懸案だった耐震性、狭隘の問題が解消された。 ○発達障がい等支援の必要な児童への対応について、県派遣のアドバイザーを派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内全38クラブを運営していく。 ○利用人数の増加する学童保育所の施設整備・確保を検討する。 ○利用意向調査を実施し、学童の需要把握に努める。 ○支援員の人材確保と育成を図る。 	教育政策課
		放課後子ども教室	<ul style="list-style-type: none"> ○市内8団体に事業実施予定。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止策をとり、学校と地域が連携して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内8団体に事業実施予定。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止策をとり、学校と地域が連携して実施していく。 	教育政策課
4 子育て家庭に対する相談・支援の充実	(1)子育てに関する情報提供や支援の充実	利用者支援事業(母子保健型)(子育て世代包括支援センター)	<p>新型コロナウイルスにより生活の変化を強いられ不安を持つ妊産婦、複雑な家庭背景を持つ家庭等継続的な支援が必要な家庭が増加傾向にある。引き続き、丁寧な対応と医療機関や関係部署と密に連携していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度実績 支援プラン作成件数 114件 ふくしあ子育て相談実施回数 45回 延相談者数 207人(令和4年1月末現在) 	<p>母子健康手帳交付時に把握した支援の必要な妊婦の支援プランの作成及び支援の提供。妊娠出産育児の切れ目ない支援を行う。</p> <p>新型コロナウイルスにより生活の変化を強いられ不安を持つ妊産婦、複雑な家庭背景を持つ家庭等継続的な支援が必要な家庭が増加傾向にある。引き続き、丁寧な対応と医療機関や関係部署と密に連携していく。</p>	健康医療課
		子育て協働モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアレントプログラム等実施 プログラムの受講者が、自ら講習等を開催する際の支援をする。 第1回 佐東幼稚園(11月~12月 4回開催) 第2回 ばんだ広場で開催(1月~2月 4回開催) 予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止 予算額 100,000円 ○協働モデル事業の実施 先進的な子育て事業の取組に対して事業を委託する。 予算額 600,000円(200,000円×3件) 公募したが、応募が無かったため未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアレントプログラム等実施 プログラムの受講者が、自ら講習等を開催する際の支援をする。(年2回開催する予定) ○協働モデル事業の実施 先進的な子育て事業の取組に対して事業を委託する。6月28日~7月23日の期間で事業実施団体を公募する予定。 予算額 600,000円(200,000円×3件) 	こども政策課
		子育て総合案内サイト「かけっこ」	<p>市内で行われる子育てに関係するイベントや健診・予防接種、子育てアドバイス、子どもの育ちが気になる方向けのイベントやアドバイスなどの情報発信を行った。市ホームページとの紐づけを図ることができた。</p> <p>今年度については、施設利用者のためにコロナ感染状況への施設の対応状況を情報発信した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、市内で行われる子育てに関係するイベントや健診・予防接種、子育てアドバイス、子どもの育ちが気になる方向けのイベントやアドバイスなどの情報発信を行う。 ○サイトを最新のDX技術を取り入れ、リニューアルし、動画や写真等を採り入れるとともに、予防接種や健診日等を個別に通知し利用者の利便性を図る。 	こども政策課

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課
		ファミリー・サポート・センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ○会員同士が一時的、短期的に育児の相互援助活動を実施。会員募集を行い、地域において、安心して子育てできる環境の充実を図った。 ・令和3年度利用件数 1,241件(令和4年1月31日現在) ・提供会員講習会 2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ○会員同士が一時的、短期的に育児の相互援助活動を実施。会員募集を行い、地域において、安心して子育てできる環境の充実を図る。 ・提供会員講習会(予定) 2回/年 	こども希望課
	(2)親子のふれあいの場の充実	子育て支援センター・つどいの広場	<ul style="list-style-type: none"> ○未就園児親子の子育て支援のため、親子の交流の場、子育てに関する相談・援助の実施、地域の子育てに関連する情報の提供、子育て支援に関する講習会などを行った。 ○智光こども園開園に伴い、子育て支援センターこりすのテーブルを開設した。 ○よこすかぬく森こども園開園に伴い、子育て支援センターはじめのいっぽ(おおぶち保育園)の出前講座を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き未就園児親子の子育て支援のため、親子の交流の場、子育てに関する相談・援助の実施、地域の子育てに関連する情報の提供、子育て支援に関する講習会などを行う。 	こども政策課
		児童館・児童交流館事業	4月から指定管理者が掛川市社会福祉協議会から中部ビル保全棟に変更となったが、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、健全な遊びの場を提供した。	引き続き、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、健全な遊びの場を提供する。	こども政策課
	(3)家庭教育の充実	ゆったり子育て三世同居応援事業	都市政策課の子育て世代向け認定住宅支援事業と統合したため、新規募集は中止。令和2年度申請分の助成のみ実施した。	令和2年度申請分の助成のみ実施予定。	こども政策課
		親子の絆づくり事業(ハッピープログラム)	業務委託は実施せず、子育て支援センターなどの講座としての開催を支援し、子育て支援センターさやのもりが7月から8月に開催した。	業務委託は実施せず、子育て支援センターなどの講座としての開催を支援していく予定。	こども政策課
		子育て世代向け住宅供給プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ○こども政策課のゆったり子育て三世同居応援事業と統合したため、子育て世代向け認定住宅支援制度の改定を行い、より充実した支援を実施した。 ○子育て世代向け住宅に認定された一戸建ての住宅を新築・購入・改築し、かつ小学生以下の子どもをもつ親であること等の条件を満たす方へ最大35万円を補助した。 ○令和3年度助成件数 42件 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、子育て世代向け住宅に認定された一戸建ての住宅を新築・購入・改築し、かつ小学生以下の子どもをもつ親であること等の条件を満たす方へ最大35万円を補助する。 ○令和4年度実施予定 助成予定件数 100件 	都市政策課
		かけがわお茶の間宣言推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「心がほっこり お茶の間トーク」の募集及び表彰・広報 応募総数5,920作品、表彰の様子は「かけがわ教育の日」HPで動画を公開、11/20～1/31) ○小学校入学生への「かけがわお茶の間宣言」クリアファイルの配布 4月に配布 1,037枚 ○お茶の間カレンダーの配布・啓発 650冊作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○「心がほっこり お茶の間トーク」の募集及び表彰・広報 ○小学校入学生への「かけがわお茶の間宣言」クリアファイルの配布 ○「お茶の間カレンダー」の配布・啓発 	教育政策課

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課
		家庭教育学級開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ○10学級にて学級開設委託。 ○保護者の事務負担軽減のため講師謝礼支払い等を市で対応。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら、子どもに関して学んだり、保護者同士が知り合える学習会の開催を引き続き委託した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級開設委託方式から講師派遣方式に移行し、講師謝礼支払い等を市で対応し、保護者の事務負担を軽減。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら、子どもに関して学んだり、保護者同士が知り合える学習会の開催を支援する。 ○幼稚園・認定こども園12園にて学習会を開催予定。 	教育政策課
		家庭教育支援員派遣事業(家庭教育サポーター派遣事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園・幼稚園、小中学校の学級懇談会等に家庭教育サポーターを派遣し、保護者同士の交流促進や親学講座の開催を行う。 ○相談サロンの拡充や、地域における保護者が集まる場での活動を模索していく。 ○桜木小学校及び城北地区まちづくり協議会と連携し、親学講座、相談活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園・幼稚園、小中学校の学級懇談会等に家庭教育サポーターを派遣し、保護者同士の交流促進や親学講座の開催を行う。 ○地域組織とも連携しながら、相談サロンの拡充や、地域における保護者が集まる場での活動を推進していく。 	教育政策課
		親子読書の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き事業を実施した。 ○令和3年度参加見込み数 こども 574人 保護者 431人 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き事業を実施する ○令和4年度参加見込み数 こども 600人 保護者 450人 	図書館
		こんにちはえほん、こんにちはえほんフォロー事業(ブックスタート)	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き事業を実施した。 ○令和3年度参加見込み数 こんにちはえほん 680人 こんにちはえほん・もっと 860人 (こんにちはえほんフォロー事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き事業を実施する。 ○令和4年度参加見込み数 こんにちはえほん 1000人 こんにちはえほん・もっと 1000人 (こんにちはえほんフォロー事業) 	図書館
5 配慮を必要とする子どもや家庭の支援	(1)障がいを持つ子どもや家庭の支援	児童発達支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする子どもが増加傾向にあり、早期療育による適切な発達を促進するために、療育が必要な子どもが療育を受けられるような児童発達支援事業の拡充が求められている。 ○東遠学園組合が、きためばえを開設し、毎日通園の定員を16人増やした。 ○0～2歳児を対象とした親子通園を当事業で開始し、継続実施した(活用制度の変更)。 ○民間のこども園に併設する形で新規事業所が開設し、インクルーシブ保育が促進され療育体制が拡充した。 ○令和4年1月末時点の利用児童数 延べ1,342人 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園や幼稚園などに通園していて、並行通園など療育支援を必要とする子どもが増加傾向にある中、重要なサービスとして、事業を継続実施する。 ○東遠学園組合では森町に第四めばえの開設に向け協議を進めている。 ○民間事業所の新規開設の動きがあり、児童発達支援事業の拡充につなげる。 ○令和3年度当初対比約1.7倍となる予算を確保して、事業を推進する。 	福祉課

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課
		放課後等デイサービス事業	<p>支援を必要とする子どもが増加傾向にある中、授業終了後等の活動の充実が求められている。そのためには、放課後等デイサービス事業所の支援スキルの向上、習い事や塾とは違うことの周知と、適正な利用の仕方など、本事業の理解を促進することが必要である。</p> <p>○共働き世帯の増加（保育園ニーズの増加）等により、放課後や夏休み等の長期休暇中の居場所的な役割も担っているため、利用日数が増加傾向にある。</p> <p>○民間事業所が新たに開設した。</p> <p>○令和4年1月末時点の利用児童数 延べ3,911人</p>	<p>支援を必要とする子どもが増加傾向にある中、重要なサービスとして、事業を継続実施する。</p> <p>○共働き世帯の増加（保育園ニーズの増加）等により、放課後や夏休み等の長期休暇中の居場所的な役割も担っていく必要があり、利用日数が増加の傾向にあるが、適正な利用促進を図っていく。</p> <p>○民間事業所が新たに開設予定であり、支援の幅が拡充する。</p>	福祉課
	(2)発達に気になる子どもや家庭の支援	養育支援事業	<p>乳児家庭全戸訪問事業や乳幼児健康診査等により、不適切な育児や環境等問題を抱える家庭に対し、引き続き養育支援事業を実施する。</p> <p>○令和3年度実績 養育支援事業延べ件数 71件（令和4年1月末現在）</p>	<p>乳児家庭全戸訪問事業や乳幼児健康診査等により、不適切な育児や環境等問題を抱える家庭に対し、保健師、助産師等が訪問し、育児に関する相談に対し助言等を行う。</p>	健康医療課
		おやこだけのこ教室	<p>引き続き、経過観察の必要な児及びその保護者に教室の参加を説明し、継続支援につなげていく。</p> <p>令和3年度から1クラス増やし、教室利用の必要な児が適切に利用できるようにする。</p> <p>○令和3年度実績 たけのこ教室延べ参加者数 492件（令和4年1月末現在）</p>	<p>乳幼児健診等で経過観察の必要な児及びその保護者に対して、継続的に集団及び個別指導を行い、児の健やかな成長を促していく。</p>	健康医療課
		児童発達相談員派遣事業	<p>支援を必要とする子どもが増加傾向にあり、家庭における子育てや療育に関するサポートの必要性も高まっている。子どもの発達のための支援だけでなく、親の養育面での支援の必要性が増加している。</p> <p>○令和4年1月末までに、18人に対し、延べ206回実施。</p>	<p>支援を必要とする子どもが増加傾向にあり、児童発達支援事業の民間事業所が開設され、支援が必要な子どもへの療育支援の拡充が図られている。</p> <p>子どもの発達のための支援だけでなく、親の養育面での支援の必要性が増加しているため、令和4年度は継続実施するが、令和5年度以降は養育支援事業への移行を検討している。</p>	福祉課
		発達相談支援センター「のびる〜む」運営事業	<p>○相談対応 延べ412件 実人数112人</p> <p>○調整、連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達相談支援連絡会 開催回数1回(2月開催予定) ・関係機関との調整連携 延べ223回 <p>○交流スペース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「のびっこ」火・木曜日 10:00～11:30 開催回数43回 延べ人数 こども108人 保護者90人 ・「つながる〜む」 奇数月第2水曜日 10:00～11:30 開催回数3回 延べ人数3人 <p>○啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達凸凹理解講座 中止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため) ・出張講座 開催回数2回 延べ人数33人 	<p>○相談対応</p> <p>○関係機関との支援体制の調整・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達相談支援連絡会の開催（年2回） ・関係機関、各課との打ち合わせ(随時) ・ケース会議の開催、参加(随時) <p>○交流の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流スペース「のびっこ」の運営 <p>○広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達凸凹理解講座の開催(年1回) ・地区組織、企業等への出張講座 ・広報かけがわやリーフレットを活用した周知・啓発 	地域包括ケア推進課

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課	
6 地域全体で子育てを支える環境づくり		ことばの教室事業	○幼児ことばの教室において、言語発達に遅滞がみられる幼児とその保護者に対して、指導・助言を行っている。 ○4歳児言葉の一斉検査を実施。 ○個別相談から引き継いだ幼児相談の実施。 ○在園発達支援児保育指導委員会による発達相談の実施。	○幼児ことばの教室において、言語発達に遅滞がみられる幼児とその保護者に対して、指導・助言を行う。 ○4歳児言葉の一斉検査を実施。 ○個別相談から引き継いだ幼児相談の実施。 ○在園発達支援児保育指導委員会による発達相談の実施。	こども希望課	
		家庭児童相談室事業	○こども希望課内に「こども家庭総合支援室」を設置。電話・来所相談対応、家庭訪問等、相談者に寄り添うとともに、さらに、ケース会議や各種制度へのつなぎ等、関係機関と連携を図り、相談体制の充実を図った。	○引き続き、電話・来所相談対応、家庭訪問等、相談者に寄り添うとともに、さらに、ケース会議や各種制度へのつなぎ等、関係機関との連携を図り、適切な支援を行う。	こども希望課	
	(3)児童虐待防止対策の推進	要保護児童対策地域協議会事業	○こども希望課内に「こども家庭総合支援室」を設置。これにより、さらに充実した相談体制の構築と関係機関との連携強化を進めるとともに、関係機関へ当室のチラシを配布し、児童虐待防止や要保護児童に関する意識啓発や広報等を行った。	○要保護児童の早期発見および適切な保護を図るため、引き続き関係機関との連携強化を図り対応するとともに、児童虐待防止や要保護児童に関する意識啓発、広報を行う。 ・要保護児童対策地域協議会 年2回開催 ・実務者会議 年11回開催 ・随時ケース会議開催	こども希望課	
	(4)子育て家庭に対する経済的支援	特別児童扶養手当給付事業	国が支給する手当であり、手帳交付時等、手当の制度概要を説明し、手当について周知を図っている。 ○令和4年1月末時点の手当該当児童数 328人。	国が支給する手当であり、引き続き、継続実施する。 ○2021年の物価変動率に基づき手当額が改定される予定。	福祉課	
		障害児福祉手当給付事業	国庫補助(補助率3/4)を受けての事業であり、手帳交付時等、手当の制度概要を説明し、手当について周知を図っている。 ○令和4年1月末時点の手当該当児童数 65人。	国庫補助(補助率3/4)を受けての事業であり、引き続き、継続実施する。 ○2021年の物価変動率に基づき手当額が改定される予定。	福祉課	
		児童手当事業	○家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図るため児童の養育者に手当を支給した。 ・給付費 1,276,465千円(令和4年1月31日現在)	○家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図るため児童の養育者に手当を支給する。 ・給付費 1,978,445千円 ※予算額	こども希望課	
		子ども医療費助成事業	○子どもの疾病を早期に発見し、早期に適切な治療を受けさせ、疾病の慢性化の予防及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する医療費の一部を助成した。 ・助成額 445,907,233円(令和4年1月31日現在)	○子どもの疾病を早期に発見し、早期に適切な治療を受けさせ、疾病の慢性化の予防及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する医療費の一部を助成する。 ・助成額 574,032千円(予算額)	こども希望課	
		要保護児童・生徒就学支援事業	経済的な理由により就学困難な児童生徒について、学用品費、校外活動費、給食費等の必要な援助を行う。 ○令和3年度予定 準要保護認定予定人数 小学校 428人 中学校 265人	経済的な理由により就学困難な児童生徒について、学用品費、校外活動費、給食費等の必要な援助を行う。 ○令和4年度予定 準要保護認定予定人数 小学校 441人 中学校 241人	学校教育課	
		(1)地域が主体となった子育て支援の充実	子育て総合案内サイト「かけっこ」(イベントカレンダー)	引き続き、申請に基づき子育て支援団体を登録し、各団体が実施するイベントの活動を支援した。また登録後、未利用の団体に対して積極的な利用の周知を行った。	引き続き、申請に基づき子育て支援団体を登録し、各団体が実施するイベントの活動を支援していく。	こども政策課

基本施策	推進施策	事業名	令和3年度事業実施状況(1月31日現在)	令和4年度事業実施予定(内示を反映させて記載)	担当課
		放課後児童健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ○4月1日から1クラブ新設(第一小どんぐり学童保育所)し、市内全38クラブ体制となった。 ○7月に利用意向調査を実施し、学童の需要を把握した。 ○ほほえみ学童保育所(横須賀小)を3月31日で閉園となったよこすか保育園舎へ移転させ、懸案だった耐震性、狭隘の問題が解消された。 ○発達障がい等支援の必要な児童への対応について、県派遣のアドバイザーを派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内全38クラブを運営していく。 ○利用人数の増加する学童保育所の施設整備・確保を検討する。 ○利用意向調査を実施し、学童の需要把握に努める。 ○支援員の人材確保と育成を図る。 	教育政策課
		青少年健全育成活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域の青少年声掛け運動」参加者募集を継続実施。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、街頭キャンペーン、全市一斉青少年育成環境美化活動を中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域の青少年声掛け運動」の実践を推進する。 ○新型コロナウイルス感染拡大状況によるが、街頭キャンペーン等を開催予定。 	教育政策課
(2)子育てと仕事の両立環境の取組の促進		子育てに優しい事業所づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てと仕事の両立環境整備に積極的に取り組む事業所等を「子育てに優しい事業所」として認定、顕彰することにより、ワーク・ライフ・バランスの充実を図った。 認定事業所数 38社 ○認定ロゴマークを新たに作成した。 ○従業員数10人未満の事業所の子育てと仕事の両立環境整備を支援するため、新たに、「子育てに優しい小規模事業所」の認定枠を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き認定、顕彰をし、実践事業所等を増やすことにより、ワーク・ライフ・バランスの充実を図る。 認定事業所数 令和7年度までに延べ50社を目指す。 	こども政策課
		子育てと仕事の両立環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き子育てと仕事の両立環境整備を推進し、ワーク・ライフ・バランスの充実を図るよう、継続して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き子育てと仕事の両立環境整備を推進し、ワーク・ライフ・バランスの充実を図るよう、継続して実施していく。 	こども政策課
(3)地域ぐるみで取り組む教育の推進		中学校区学園化構想推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校区学園化推進連絡協議会の開催(年1回) ○地域コーディネーター会議の開催(年2回) ○各学園子ども育成支援協議会への参加(年2回) ※新型コロナウイルス感染症拡大のため実績減 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校区学園化推進連絡協議会の開催(年1回予定) ○地域コーディネーター会議の開催(年2回予定) ○各学園子ども育成支援協議会への参加(年18回予定) 	教育政策課
		放課後子ども教室	<ul style="list-style-type: none"> ○市内8団体に事業実施予定。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止策をとり、学校と地域が連携して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内8団体に事業実施予定。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止策をとり、学校と地域が連携して実施していく。 	教育政策課
(4)安全・安心対策の推進		防犯意識高揚・団体支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 自主防犯活動団体や自治会への支援及び関係機関との連携による研修会の開催、防犯啓発活動を実施した。 ○令和3年度実績 ・防犯灯564灯・防犯カメラ1基の設置補助(予定) ・青色回転灯パトロール実施 ・地区まちづくり協議会防犯交通安全担当者研修 41人 ・防犯リーダー育成講座2日間 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防犯活動団体や自治会への支援及び関係機関との連携による研修会の開催、防犯啓発活動を実施していく。 ○令和4年度実施予定 ・防犯灯482灯・防犯カメラ3基の設置補助(予定) ・青色回転灯パトロール実施 ・地区まちづくり協議会防犯交通安全担当者研修 50人 ・防犯リーダー育成講座2日間 	危機管理課
		次世代リーダー育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの災害対応能力を育成し、将来にわたって地域の防災活動を支える人材を育成することを目的とし、次世代リーダー養成講座を開催した。 ○令和3年度実績 開催回数1回(11/28) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの災害対応能力を育成し、将来にわたって地域の防災活動を支える人材を育成することを目的とし、次世代リーダー養成講座を開催する。 ○令和4年度実施予定 開催回数1回 	危機管理課